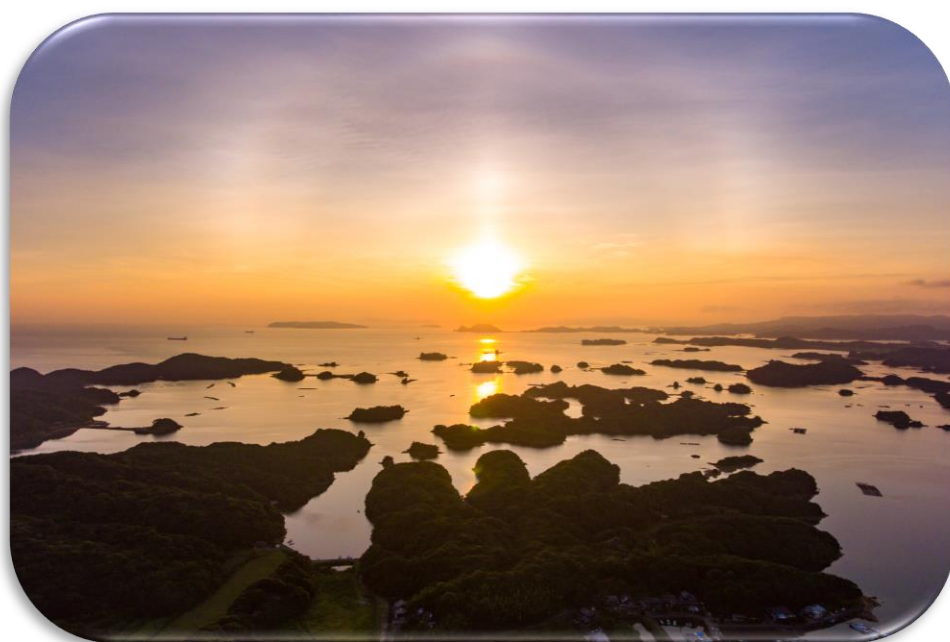


平成30年度佐世保市 環境基本計画報告書

—平成29年度における
環境基本計画の進捗状況—



目次

©SASEBO

新佐世保市環境基本計画の策定について	1
環境基本計画部会の開催について	2
環境基本計画とは？	3
環境基本計画報告書とは？	4
平成29年度の環境基本計画の進捗状況	5
基本目標1 地球温暖化防止	5
基本目標2 自然環境の保全	9
基本目標3 快適な生活環境とまちづくり	13
基本目標4 大気環境と水環境の保全	15
基本目標5 ごみの減量化とリサイクル	17
基本目標6 環境保全活動の促進	20
環境保全活動の実施状況（市民・事業所）	23
環境基本計画報告書 各指標実績一覧	30

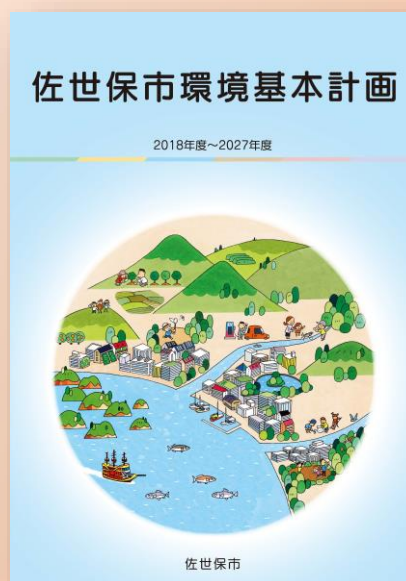
平成31年3月 佐世保市

新しい佐世保市環境基本計画を策定しました！

前計画の期間が平成 30 年 3 月までとなっていることから、これからの 10 年間を見据えた新しい環境基本計画を策定しました。

今後はこの計画に基づき、「自然と共に生きるまち させぼ」を未来の子どもたちに受け継ぐため、さまざまな取り組みを進めていきます。

計画は市HPで公開しております。また、概要版をさせぼエコプラザで配布しておりますので、ご活用ください。



重点プロジェクト

新しい計画では、6つの基本目標をけん引していく役割を果たすものとして、**重点プロジェクト「SASEBO “e” PROJECT**」を設定しています。

「佐世保市地球温暖化防止活動推進センター（させぼエコプラザ）」を地球温暖化対策や環境教育の拠点とし、自発的・積極的に環境に配慮した行動をとることができる市民を育てていくことを目指します。

させぼエコプラザを拠点とした取り組み

情報の発信、させぼエコプラザのPR

- ・地球温暖化対策に関する情報を、幅広い世代へ発信。
- ・させぼエコプラザの活動を広くPR。

新規啓発事業の開拓

- ・市民が参加したいと思う地球温暖化対策に関する啓発事業を実施。

活動支援

- ・地球温暖化防止活動推進員や市民団体の活動を支援。

環境教育プログラムの実施

- ・幼児期から大人まで、さまざまな年代が利用できる環境教育プログラムを実施。

地域における環境教育の充実

- ・本市の豊かな自然や施設を活用した環境教育プログラムを展開。

学校における環境教育の充実

- ・子どもが日常生活の中で環境問題について学ぶ機会を創出し、環境に配慮した行動をとることができるよう支援。

環境基本計画部会で検討しました



市民による取り組みが特に重要な「地球温暖化防止」、「食品ロス」について、市民目線による検討を行いました。

●「地球温暖化防止」と「食品ロス」について、行政の取り組みのヒアリングを行いました。

●2班に分かれ、ワークショップ形式にて、意見交換・発表を行いました。「地球温暖化防止」については主体ごとの取り組み状況について評価点検を行いました。「食品ロス」については、今後も積極的に取り組むべき案件として、各自の意見、および行政への提案などの発表を行いました。

第1回 平成30年8月9日(木) 14:30~16:30

第2回 平成30年9月3日(月) 10:00~12:00

地球温暖化防止について

市民の取り組み

- 温暖化に気を付けてはいるが、今年の猛暑については少し厳しい状況である。
- 個人や家庭での取り組みとしては限界があり、有効な施策を探す努力が必要。
- 学校現場へのエアコン設置をチャンスと考え、節電についての教育機会に！
- 交通事情の関係もあるが、一人ひとりが自動車を所持、使用しているため温暖化防止につながっていない。

など

行政の取り組み

- 地球温暖化防止活動推進員の活動が市民サイドには見えにくい。
- バスの回数が少なく、外出の際に自家用車を使ってしまうので、バスの回数を増やしてほしい。
- 各地区での団体（公民館行事等）に参加して指導してほしい。
- 催しものに関する市民の関心が薄いように思う。若い世代の人が興味を持てるような工夫が必要では。
- 子供がもっと公共交通機関を使えるようにしてほしい。

など

食品ロスに関する意見・提案

- 地方自治体における食品廃棄物、食品ロス、食品リサイクルの実態を正確に把握する必要がある。
- 学校への広報を行う。食べ残しをしない+食べられなさそうなら、配膳時の「少し減らして」の一言を。
- 家庭よりも、事業者の食品ロスが多いと思う。行政のほうで指導し、売れ残りの少なくなる量を考えてほしい。
- 食品ロスの回収・分別収集は容易ではなく、時間、手間が相当かかる。市民にとって取り組みやすい生ごみ分別の方法を考える必要がある。
- 自治協議会にボランティアを募るなどして、フードバンク（※不要食材を集め、福祉事業等へ寄付するしくみ）の設置を増やしてはどうだろうか。
- これからの取り組みに必要なことは「成功体験の収集・発信」である。他自治体や研修等で得た成功体験や情報を、行政から市民にむけて発信いただき、みんなで食品ロスに取り組む状況を作っていく必要がある。

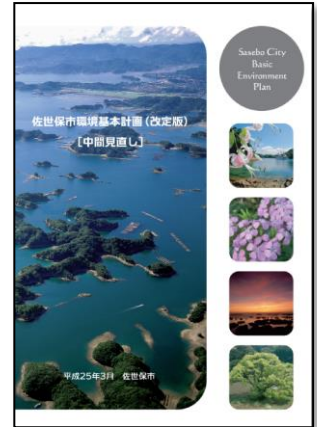
ほかにも、多数の意見をいただきました。

貴重なご意見、ご提案をいただきました。
ありがとうございます！

佐世保市環境基本計画とは？

佐世保市環境基本条例第10条に基づき、佐世保市の環境の望ましい将来像、「自然と共に生きるまち させぼ」を示し、施策を総合的かつ計画的に推進するための方向性や、市民・市民団体・事業者・市行政の役割を明らかにすることで、将来の世代に良好な環境を引き継いでいくことを目的とした計画です。環境面では最上位の計画であり、環境に関わりがある市のすべての施策や事業は、環境保全の観点から本計画との整合を図って実施しています。

なお、平成30年度以降を見据えた、新しい環境基本計画がすでに策定されておりますが、本書は平成29年度実績の報告であるため、平成20年3月に策定され、平成24年度に中間見直し済の、旧佐世保市環境基本計画（平成20年度～平成29年度）に基づく指標で構成されています。



佐世保市環境基本計画
〔中間見直し〕

■ 6つの基本目標

◇基本目標1【地球温暖化防止】

地球温暖化防止に取り組むまち ～くらしの中の省エネルギー～

〔取組の方向性〕

- 1-① エネルギーを有効かつ効率的に活用する
- 1-② 低炭素型ライフ・ビジネススタイルを実践する
- 1-③ 人と地球にやさしい都市構造・交通システムを整備する

〔主な目標〕

温室効果ガス排出量の1990（平成2）年比削減率

7.8%増（平成22年度）→目標は今後設定

◇基本目標2【自然環境の保全】

多様な自然を守り伝えるまち ～子孫に残す海、山、川、里山～

〔取組の方向性〕

- 2-① 自然環境の骨格をなす海、山、川、里山を保全する
- 2-② 生物の多様性を保全する
- 2-③ 自然とのふれあいを促進する
- 2-④ 地産地消を進める

〔主な目標〕

自然環境に対する市民満足度

78.0%（平成23年度）→85.0%（平成29年度）

◇基本目標3【快適な生活環境とまちづくり】

自然と調和した美しいまち ～市民も観光客も快適な環境～

〔取組の方向性〕

- 3-① 環境の美化を図る
- 3-② 身近な緑を豊かにする
- 3-③ 良好な景観を形成する

〔主な目標〕

まちの清潔さ・きれいさに対する市民満足度

35.0%（平成23年度）
→基準値より増（平成29年度）

◇基本目標4【大気環境と水環境の保全】

環境に負荷を与えないまち ～きれいな空気と清らかな水～

〔取組の方向性〕

- 4-① 大気環境を保全する
- 4-② 生活排水対策などにより水環境を保全する
- 4-③ 騒音・振動・悪臭や有害化学物質による汚染を防止する

〔主な目標〕

環境基準の達成率（大気・水質）

95.8%（平成22年度）
→95.8%（平成29年度）

◇基本目標5【ごみの減量化とリサイクル】

省資源、資源循環のまち ～ものを大切に生活～

〔取組の方向性〕

- 5-① ごみになるものを断る（リフューズ Refuse）
- 5-② ごみになるものを減らす（リデュース Reduce）
- 5-③ ものをそのまま再使用する（リユース Reuse）
- 5-④ 原材料に戻して再生利用する（リサイクル Recycle）

〔主な目標〕

1人1日平均ごみ排出量

1,031g/人/日（平成22年度）

→1,012g/人/日（平成29年度）

◇基本目標6【環境保全活動の促進】

環境意識の高いまち ～活動する環境市民～

〔取組の方向性〕

- 6-① 環境マネジメントの考え方を普及する
- 6-② 環境情報の発信を進める
- 6-③ 環境教育・学習を推進し、“環境市民”を育成する
- 6-④ 協働による環境保全活動を展開する

〔主な目標〕

エコライフの実践度

73.0%（平成22年度）

→基準値より増（平成29年度）

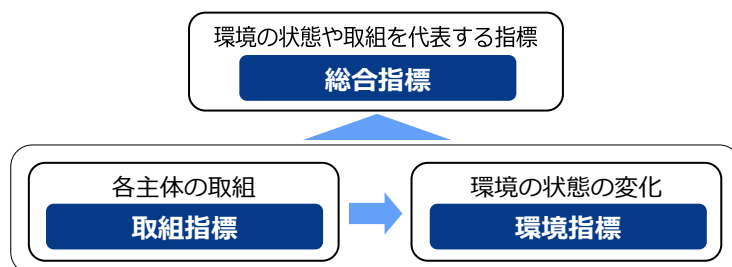
エコオフィスの実践度

47.9%（平成22年度）

→基準値より増（平成29年度）

■ 進行管理のための指標

本計画は、市民、市民団体、事業者、行政のあらゆる主体がそれぞれに、また連携・協働して取り組むものです。そこで、各主体の取組の進捗状況を把握し、取組の効果を評価することを目的として、3つのタイプの指標（総合指標、環境指標、取組指標）を設定しています。

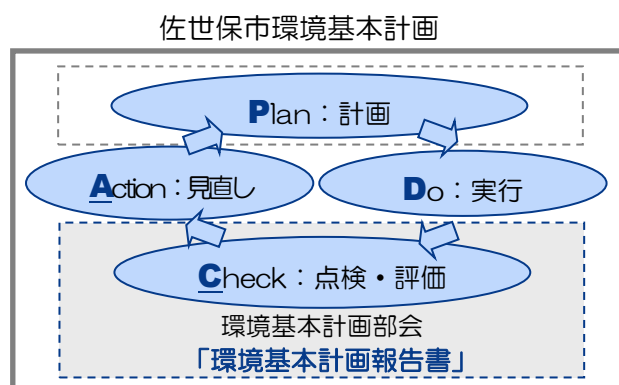


佐世保市環境基本計画報告書とは？

■ 環境マネジメントツールとしての役割

佐世保市環境基本計画では、PDCA サイクルによって環境マネジメントを行うこととしています。

この報告書は、学識経験者や関係団体の代表者等で構成する「佐世保市環境政策審議会 環境基本計画部会」において行った「C（Check：点検・評価）」をまとめたものです。翌年度以降の取組へ反映「A（Action：見直し）」させていただきます。



■ 行政・市民・市民団体・事業者の取組報告書としての役割

行政の取組状況は、各施策や事業の担当課からの報告をまとめました。市民・事業者の取組状況はアンケート調査（佐世保市の環境問題に関するアンケート調査）により把握し、巻末にまとめました。

■ 環境コミュニケーションツールとしての役割

市の環境に関する点検・評価の結果を広く市民のみなさまに公表し、行政と市民・市民団体・事業者のみなさまとの環境コミュニケーションを図ります。

平成 29 年度の環境基本計画の進捗状況

基本目標

1 地球温暖化防止

地球温暖化防止に取り組むまち ～くらしの中の省エネルギー～



総合指標

温室効果ガス排出量の 1990(平成 2)年比削減率

1990 年(平成 2 年)の温室効果ガス排出量と、各年度の排出量を比較した削減率で計ります。

◆温室効果ガス排出量の増減率について

記載の年度は排出量の算定を行い公表した年度です。温室効果ガス排出量は、実際の排出年度の 2 年後に算定を行い公表しています。(国、県等の統計データを基に算定しており、算定するまでに時間を要するため)

平成 24 年度 算定値	平成 28 年度 算定値	平成 29 年度 算定値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
平成 2 年比 22.2%増	平成 2 年比 52.8%増	平成 2 年比 43.9%増	(今後設定)	★★★ (改善)	— (目標値未設定)

- 前年値からの変化を 3 段階で評価しています。★☆☆ ⇒ 悪化 ★★★ ⇒ 変化なし ★★★★★ ⇒ 改善
- 目標値との比較とは、29 年度現況値と目標値を比較し、「達成」「未達成」で表記したものです。
- 中間見直し以降分の、年度ごとの目標値との比較を、30 ページ以降の「各指標実績一覧」に掲載しています。

【総合評価】

■平成 29 年度の状況

- ・これまで温室効果ガス排出量は、九州電力株式会社の佐世保市域で使用された電力量の値をもとに算定していましたが、平成 26 年に開始した電力小売全面自由化の影響を鑑み、経済産業省が公表している値をもとに再度算定しました。
- ・平成 25 年度以降、算定範囲を旧江迎町、旧鹿町町まで拡大したことにより、平成 24 年度と比較して大幅に数値が上昇しています。
- ・平成 28 年度と比較して改善した理由は、東日本大震災以降、化石燃料の使用増加に伴い増加していた排出係数が、太陽光発電等の再生可能エネルギーや原子力発電の再稼働等に伴い減少していること、産業部門及び民生業務部門で電力使用量が減少したことが挙げられます。

■今後の方向性

- ・運輸部門からの排出が、全体の約 3 割を占めていますが、地形的条件などから自動車利用はやむを得ない事情がありますので、エコドライブの普及を行うなど地域の特性にあった施策を引き続き推進します。
- ・東日本大震災以降、政府のエネルギー政策の方向性が定まらず、その影響を受けて本市の温室効果ガス排出量削減に係る目標も設定が困難な状況が続いていましたが、平成 28 年 5 月に、国の計画である「地球温暖化対策計画」が閣議決定されました。
- ・平成 30 年度以降は、国の計画と整合性のとれた目標値を定めた新環境基本計画(2018～2027 年版)に従い、各取り組みを推進していきます。

【環境指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの 変化	目標値との 比較
CO ₂ 排出量(総量) 総量値	1,588千t-CO ₂ (平成24年度)	1,987千t-CO ₂ (平成28年度)	1,871千t-CO₂ (平成29年度)	(今後設定)	★★★ (改善)	— (目標値未設定)
CO ₂ 排出量(総量) 1人当たり値	6.3t-CO ₂ /人 (平成24年度)	7.2t-CO ₂ /人 (平成28年度)	7.3t-CO₂/人 (平成29年度)	(今後設定)	★☆☆ (悪化)	— (目標値未設定)
CO ₂ 排出量 (民生家庭部門)	339千t-CO ₂ (平成24年度)	431千t-CO ₂ (平成28年度)	387千t-CO₂ (平成29年度)	(今後設定)	★★★ (改善)	— (目標値未設定)
CO ₂ 排出量 (民生業務部門)	384千t-CO ₂ (平成24年度)	491千t-CO ₂ (平成28年度)	441千t-CO₂ (平成29年度)	(今後設定)	★★★ (改善)	— (目標値未設定)
CO ₂ 排出量 (運輸部門)	371千t-CO ₂ (平成24年度)	532千t-CO ₂ (平成28年度)	535千t-CO₂ (平成29年度)	(今後設定)	★☆☆ (悪化)	— (目標値未設定)
公共交通利用者 数(鉄道・バス)	24,117,000人 (平成23年度)	22,861,179人 (平成28年度)	22,137,410人 (平成29年度)	24,117,000人 (平成29年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
目的地まで移動す るのに円滑に公共 交通機関の利用が できる市民の割合	— ※25年度からの指標	計測できず (平成28年度)	64.9% (平成29年度)	69.4% (平成29年度)	— (前年値未計測)	未達成

※ CO₂排出量については、記載の年度は排出量を算定し公表した年度です。実際の排出年度の2年後に算定し公表しています。また、基準値としている平成24年度は旧江迎町及び鹿町町を含まず、平成25年度以降は旧江迎町及び鹿町町を含みます。

※ 「計測できず」とあるのは、調査に利用している「まちづくり市民意識アンケート調査」が隔年実施であり、平成28年度の意識調査が実施されなかったためです。

取組 1：エネルギーを有効かつ効率的に活用する

【行政の取組状況】

事業名等	平成29年度の取組状況	今後の方向性
省エネルギー 法等対策事業	大規模建築物(床面積2,000㎡以上の非住宅建築物)の新築・増築に関し、省エネ性能確保計画書を受理・審査し、省エネ基準に適合しているか確認しました。また、一定規模以上(床面積300㎡以上)の建築物の新築・増築に関し、届出を受理・審査し、省エネ基準に適合しているか確認しました。 ●省エネルギー法の審査回数65件(H28:73件)	今後も、法令に基づいた省エネ性能確保計画書及び届出書の審査・指導、届出を促すための通知、省エネルギー法改正のお知らせなどを行います。
LED防犯灯補助 事業	各町内会で維持管理されている防犯灯について、LED照明の普及促進を図るため、LED防犯灯を設置する経費の一部を補助しました。 ●LED防犯灯設置補助灯数2,016灯(H28:2,381灯)	本事業は24年度から28年度までの5か年計画でしたが、30年度まで2年間延長を行い、防犯灯2万1千灯のLED化を図ります。
地球温暖化防 止対策事業 (エコドライブ)	ラジオCM放送、リーフレット配布などにより、市民等へのエコドライブの啓発を行いました。また、市職員のエコドライブについての知識の習得及び率先的な実行のため、エコドライブ座学講習会を実施しました。 ●エコドライブ啓発回数4回(H28:5回)	引き続き市民等へのエコドライブの啓発を行います。また、エコドライブ講習会については、数年かけて全職員の受講を目指します。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値
省エネ法に適合した建築物の割合	75.9% (平成 23 年度)	78.7% (平成 28 年度)	77.9% (平成 29 年度)	100.0% (平成 29 年度)
エコドライブに積極的に取り組んでいる市民の割合	82.1% (平成 23 年度)	87.8% (平成 28 年度)	88.4% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)

前年値からの変化	目標値との比較
★☆☆ (悪化)	未達成
★★★ (改善)	達成

取組 2：低炭素型ライフ・ビジネススタイルを実践する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況
地球温暖化防止対策事業 (イベント・講習会など)	地球温暖化防止のための正しい知識を普及啓発するため、市民・事業者向けに、地球温暖化防止啓発イベント、みどりのカーテン講習会、どこでも環境教室、エコアクション 21 セミナー、イニシアティブ・プログラムなどを実施しました。また、市職員向けに、エコドライブ座学講習、環境マネジメントシステムに係る各種研修などを実施しました。 ●地球温暖化に関するイベント等の回数 31 回、参加人数 1,967 人 (H28：回数 30 回、参加人数 1,965 人)
エコ資金 (佐世保市中小企業融資制度)	平成 24 年度からエコ資金を創設し、融資を実行しました。 ●エコ資金融資実績 2 件 4,700 千円 (H28：3 件 9,000 千円) エコ資金…市内中小企業者が、低公害車の購入、新エネルギーまたは省エネルギー設備や雨水・再生水利用システム設備、廃棄物リサイクル設備の導入、ISO14000 シリーズの取得及び導入などに必要とする資金の融資を行うもの。

今後の方向性
啓発活動を継続的に実施します。
引き続きエコ資金の融資を行います。必要に応じて、融資の貸付利率や融資限度額などの見直しを行い、利用しやすい制度を目指します。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値
環境家計簿に取り組んでいる市民の割合	13.8% (平成 23 年度)	16.7% (平成 28 年度)	27.8% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)
地球温暖化防止活動啓発研修会等の参加人数	687 人 (平成 23 年度)	1,965 人 (平成 28 年度)	1,967 人 (平成 29 年度)	1,100 人 (平成 29 年度)

前年値からの変化	目標値との比較
★★★ (改善)	達成
★★★ (改善)	達成



「エコ資金」をご存じですか？

環境に配慮した経営に積極的に取り組む市内の事業者の皆さんを対象として、CO₂削減や省エネ対策、節電対策等のための設備資金に対し、低金利の融資を行っています。
詳しくは、佐世保市役所 商工物産課へお尋ねください。

ご利用ください！

融資期間 10年
融資限度額 1,000万円
据置期間 1年以内

取組3：人と地球にやさしい都市構造・交通システムを整備する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
松浦鉄道対策事業	佐世保市公式ホームページの鉄道利用促進に関する情報の中で、松浦鉄道のお得なサービスや周辺イベント、パークアンドライド駐車場等を紹介しました。また「させぼ公共交通ふれあいフェスタ」で松浦鉄道を展示パネル等で紹介し、PRしました。 ●佐世保市内の駅での松浦鉄道利用者数 1,680,669 人 (H28 : 1,668,032 人)	松浦鉄道の沿線自治体として、同社が運営している市内のパークアンドライド用駐車場の利用促進を図り、公共交通利用者の増加を図ります。
交通不便地区対策事業	小型バスや乗合タクシー等を利用して、交通不便地区対策を行いました。中通・大野・世知原・小佐々・浅子・三川内地区で予約制乗合タクシーの本格運行をしています。H29年度は江迎、吉井地区で乗合タクシーの社会実験を行い、柚木では同タクシーの導入を行いました。●目的地まで円滑に公共交通機関の利用ができる市民の割合 H29 : 64.9% (H28 数値はアンケート未実施のため不明)	予約制乗合タクシー等の新規導入対象地域の検討および、運行している地域では地元による利用促進活動等により利用者の増加を図ります。
環境定期制度	マイカー利用の抑制及び市営バス利用促進のため、環境定期制度を実施しました。定期券利用者自体の減少に歯止めをかけるために各高等学校を訪問し、新入生向けの定期券購入の営業活動を実施しました。 ●環境定期制度利用者数 35,714 人 (H28 : 41,034 人) 環境定期制度…通学定期を持っている本人、通勤定期を持っている本人と同伴家族が、利用区間外でも、土日祝・年末年始は1回大人 100 円 (小人 50 円) で乗車可。	平成30年度末に交通局が廃止されることに伴い、市営バスの最終運行日である平成31年3月23日をもって環境定期制度についても終了することとなります。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
公共交通などを活用して自家用車の利用抑制を図っている市民の割合	53.9% (平成 23 年度)	44.1% (平成 28 年度)	46.6% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成

気候変動枠組条約第 24 回締約国会議 (COP24) が平成 30 年 12 月にポーランドで行われ、COP21 で採択されたパリ協定の実施指針が定められたばい。

世界各国みんなで話し合って、「先進国も発展途上国も同じごと、世界のみんで温室効果ガスの削減に向けて取り組んでいくことが必要やね。」って結論に達したごた。

佐世保も、世界も、つながっとるけん、
みんなで温室効果ガスの削減をしていこう！



ダストンくん

2 自然環境の保全

多様な自然を守り伝えるまち

～子孫に残す海、山、川、里山～



総合指標

自然環境に対する市民満足度

第6次佐世保市総合計画の推進に関する「まちづくり市民意識アンケート調査」で、自然環境に対する市民の満足度を計ります。

基準値	前々年値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
78.0% (平成 23 年度)	84.3% (平成 27 年度)	(計測不能) (平成 28 年度)	83.4% (平成 29 年度)	85.0% (平成 29 年度)	— (前年値未計測)	未達成

- 前年値からの変化を3段階で評価しています。★☆☆ ⇒ 悪化 ★★☆☆ ⇒ 変化なし ★★★ ⇒ 改善
- 目標値との比較とは、29年度現況値と目標値を比較し、「達成」「未達成」で表記したものです。
- 中間見直し以降分の、年度ごとの目標値との比較を、30ページ以降の「各指標実績一覧」に掲載しています。

【総合評価】

■平成 29 年度の状況

- ・「市民意識アンケート調査」が平成 25 年度分（平成 26 年 5 月実施）を最後に隔年実施となったため、前年値が計測不能となっていますが、前々年値は 84.3%であり、ほぼ横ばいとなっています。

■今後の方向性

- ・佐世保市には九十九島など優れた自然環境を有する場所が多く存在します。自然とふれあう機会を充実させ、様々な情報を発信していくことで、引き続き自然環境および、自然とのふれあいに対する市民満足度の向上に努めます。

総合指標

自然とのふれあいに対する市民満足度

自然とのふれあいに対する市民満足度を環境部が独自に行っている「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」で計ります。
(水や水辺とのふれあいに対する市民満足度、農地や土とのふれあいに対する市民満足度、生きものとのふれあいに対する市民満足度の平均)

基準値	前々年値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
26.0% (平成 23 年度)	28.6% (平成 27 年度)	30.6% (平成 28 年度)	27.7% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	達成

【総合評価】

■平成 29 年度の状況

- ・対基準値は上回っていますが、対前年値を下回っています。
- ・「水や水辺とのふれあいに対する市民満足度」「農地や土とのふれあいに対する市民満足度」「生きものとのふれあいに対する市民満足度」のいずれも前年値より悪化していますが、中でも「生きものとのふれあいに対する市民満足度」については、さらに基準値より下回った結果となっています。

■今後の方向性

- ・今後も引き続きアンケート調査を行い、市民満足度の動向をとらえ、各取組につなげていきます。

【環境指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
森林面積	21,302ha (平成 23 年度)	21,003ha (平成 28 年度)	20,774ha (平成 29 年度)	— (未設定)	★☆☆ (悪化)	— (目標値未設定)
耕地面積	3,545ha (平成 23 年度)	2,928ha (平成 28 年度)	2,928ha (平成 29 年度)	— (未設定)	★★☆ (変化なし)	— (目標値未設定)
絶滅の危険性がある種の数	761 種 (平成 23 年度)	863 種 (平成 28 年度)	863 種 (平成 29 年度)	— (未設定)	★★☆ (変化なし)	— (目標値未設定)
水や水辺とのふれあいに対する市民満足度	24.0% (平成 23 年度)	32.3% (平成 28 年度)	30.5% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	達成
農地や土とのふれあいに対する市民満足度	26.0% (平成 23 年度)	28.6% (平成 28 年度)	25.9% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
生きものとのふれあいに対する市民満足度	29.0% (平成 23 年度)	31.1% (平成 28 年度)	26.7% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
動植物園社会学習事業参加者の満足度及び理解度	100.0% (平成 23 年度)	92.6% (平成 28 年度)	96.6% (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成

取組 1：自然環境の骨格をなす海、山、川、里山を保全する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
ふるさとの森林づくり事業	市の森林保護・緑化思想及び林業の普及啓発を図るため、市民ボランティアが主体となり、植樹・育樹祭を開催しました。 ●植樹及び育樹活動を行った面積 5,300 m ² (H28 : 5,300 m ²)	地域の独自性と創意工夫による緑化活動を継続して支援し、市民が森林活動を行うことで関心と理解を深める機会を確保します。
多面的機能支払交付金	農業者を中心に地域で設立された活動組織が、農業用施設の維持保全（水路や農道の草刈りや泥上げ等）と農村環境保全活動（景観植物の植栽、生き物調査等）を実施しました。 ●活動組織数 62 地区 (H28 : 67 地区)	地域住民との共同活動により担い手農家の負担軽減を図るため、活動の継続を働きかけていきます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
農業従事世帯数 (累計値)	3,262 世帯 (平成 23 年度)	2,996 世帯※ (平成 28 年度)	2,907 世帯※ (平成 29 年度)	3,000 世帯 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
農地流動化面積	105 ha (平成 23 年度)	169ha (平成 28 年度)	168ha (平成 29 年度)	651 ha (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
遊休農地面積	639 ha (平成 23 年度)	372ha (平成 28 年度)	309ha (平成 29 年度)	基準値より減 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
育成すべき担い手数(認定農業者数)(累計値)	472 経営体 (平成 23 年度)	433 経営体 (平成 28 年度)	425 経営体 (平成 29 年度)	485 経営体 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
担い手数(漁協組合員数)(累計値)	1,864 人 (平成 23 年度)	1,620 人 (平成 28 年度)	1,578 人 (平成 29 年度)	1,600 人 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
中山間地域集落協定締結組織数	109 集落 (平成 23 年度)	98 集落 (平成 28 年度)	99 集落 (平成 29 年度)	98 集落 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成

※農業従事者数は、平成 26 年度までは農業委員選挙人名簿登録世帯数によっていましたが、法改正により農業委員選挙が無くなったため、平成 28 年度、29 年度値は農地台帳システム上の農業従事世帯数を掲載しています。

取組 2：生物の多様性を保全する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
野生生物保護活動事業（調査・啓発）	住民と合同でのニッポンバラタナゴ調査、希少野生生物の水槽・パネル展示等により、保護意識の啓発を行いました。 ●希少野生生物保護・啓発活動の実施回数 2 回 (H28 : 3 回)	野生生物の保護活動等を通じ、保護意識の啓発を継続します。

野生生物保護活動事業（指導・助言）	本市が実施する設計金額 300 万円以上の公共工事について、希少野生生物への影響が最小限となるよう保護対策の検討について、指導・助言を行っています。国・県・民間事業者に対しても同様に助言や情報提供を行っています。 ●野生生物保護に係る助言・指導 31 件（H28:23 件）	今後も引き続き希少野生生物の分布状況に関する情報提供、保護対策の検討についての指導・助言等を行います。
野生動植物の希少種保存繁殖事業	九十九島動植物園のピオトープにおいて、絶滅危惧種や希少種の保護や繁殖に努め、採取地の群落調査を実施しました。また、地元小学校と共同で水稻栽培に取り組み、学習会を開催しました。 ●植物の種の多様性保全 274 種（H28：151 種）	自然環境調査等は動植物園が果たすべき重要な役割の一つであるため、継続して取り組んでいく。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
ホテルの生息状況確認箇所数	109 箇所 (平成 23 年度)	110 箇所 (平成 28 年度)	120 箇所 (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
自然環境保全意識啓発活動の実施回数	3 回 (平成 23 年度)	3 回 (平成 28 年度)	2 回 (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成

取組 3：自然とのふれあいを促進する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
九十九島ビジターセンター運営事業	市民、観光客を対象に 12 回の自然観察会を実施し、カヤックや瀬渡し船で無人島に上陸し、島特有の植物や海の生き物を観察するなど、九十九島のフィールドで自然と触れ合う機会を提供しました。 ●自然観察会開催率 85.7%※雨天で 2 回中止 (H28：100%)	九十九島の注目度が国内外で高まっており、企画展を開催するなど、多くの方に九十九島の優れた環境を知っていただくよう取組内容の充実を図ります。
科学大好き事業	少年科学館の科学教室において、市内の小・中学生が国見岳周辺、牽牛崎海岸、花の森公園周辺で自然観察会を行い、佐世保の豊かな自然にふれました。 ●自然観察会実施回数 3 回（H28：4 回）	平成 30 年度以降は自然観察会を年 10 回に増やして実施し、身近な自然環境に触れ、環境保全について考える機会を増やします。
観光地域づくり推進事業	「させばエコツーリズム」の各種体験プログラムを実施しました。 ●体験プログラム数 74 プログラム (H28：75 プログラム) ●体験プログラム参加人数 189,271 人 (H28：176,928 人)	平成 25 年 4 月に国土交通大臣より認定を受けた「海風の国」佐世保・小値賀観光圏において、本市特有の自然や歴史、文化、産業等、地域の魅力的な素材を活かした圏域内における滞在プログラム等を造成し、滞在交流型観光の推進を図っていきます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
体験観光プログラム(エコツアー)の参加人数	148,205 人 (平成 22 年度)	176,928 人 (平成 28 年度)	189,271 人 (平成 29 年度)	179,000 人 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
農林業体験利用者数	1,369 人 (平成 23 年度)	1,252 人 (平成 28 年度)	1,301 人 (平成 29 年度)	1,800 人 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成
漁業体験者数	3,627 人 (平成 23 年度)	1,317 人 (平成 28 年度)	1,260 人 (平成 29 年度)	5,000 人 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成

取組 4：地産地消を進める

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
農産物振興対策事業	地域特産物の消費拡大のためのイベントを開催する団体に対し、開催経費を補助しました。 ●来場者数約 34,000 名 (H28:約 23,200 名)	各イベントにおいて、農産物並びに農産加工品の PR に努め、農業者の経営安定並びに、地域活性化に貢献する。
学校給食事業	佐世保市学校給食会が事務局となり、関係者(団体)による「学校給食青果物地産地消関係者協議会」を開催し、情報共有や協力が得られました。また、毎月 19 日(食育の日)に佐世保産の食材を 1 品以上取り入れる取組を実施しています。 ※県内産重量比 ●学校給食全体に占める地域作物利用状況 66.0% (H28:66.0%)	関係者と情報交換等を行いながら、地域食材の活用増を目指します。また、毎月 19 日(食育の日)の取組も継続し、佐世保産の割合を上げていきます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
エコファーマーの認定者数(累計値)	558 人 (平成 23 年度)	152 人 (平成 28 年度)	126 人 (平成 29 年度)	580 人 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
主要農産物直売所売上高	5.2 億円 (平成 23 年度)	5.4 億円 (平成 28 年度)	5.3 億円 (平成 29 年度)	6.7 億円 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
学校給食での地元食材の利用割合(市内産重量比)	54.7% (平成 23 年度)	52.0% (平成 28 年度)	51.2% (平成 29 年度)	55.0% (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
市内向け出荷量(水産市場取扱漁獲物)	12,899 t (平成 23 年度)	13,895 t (平成 28 年度)	14,870 t (平成 29 年度)	13,000 t (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成

海風旅

「海風の国」佐世保・小値賀を巡る「海風旅。」をご存知ですか？九十九島をはじめとした、本市特有の自然や歴史、文化、産業等、地域の魅力的な素材を生かした体験プログラムが数多く企画されています。最新の情報は下記のサイトをご覧ください。
<http://www.sasebo99.com/>

黒毛和牛の繁殖飼育が盛んな宇久島。和牛とのふれあいをとおして、「生命」と「食」のつながりが再確認できます。



黒島豆腐づくり体験

使用する海水が程よい風味となり、とても美味しい黒島豆腐。代々受け継がれてきた 100 年窯での豆腐作りを体験します。



宇久島での和牛飼育体験

九十九島の海や無人島、養殖イカダなどをガイドと一緒に巡ります。



九十九島エコカヤッキング

国内有数のシーカヤック名所、西海国立公園九十九島で環境保全と自然体験をいっぺんに楽しめます。



九十九島・無人島上陸とエサやり体験クルーズ

3 快適な生活環境とまちづくり

自然と調和した美しいまち ～市民も観光客も快適な環境～



総合指標

まちの清潔さ・きれいさに対する市民満足度

まちの清潔さ・きれいさに対する市民満足度を環境部が独自に行っている「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」で計ります。

基準値	前々年値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
35.0% (平成 23 年度)	44.6% (平成 27 年度)	42.5% (平成 28 年度)	44.1% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成

- 前年値からの変化を3段階で評価しています。★☆☆ ⇒ 悪化 ★★☆☆ ⇒ 変化なし ★★★ ⇒ 改善
- 目標値との比較とは、29年度現況値と目標値を比較し、「達成」「未達成」で表記したものです。
- 中間見直し以降分の、年度ごとの目標値との比較を、30ページ以降の「各指標実績一覧」に掲載しています。

【総合評価】

■平成 29 年度の状況

- ・前年値より改善し、目標値（基準値より増）を上回ることができました。

■今後の方向性

- ・まちの清潔さ・きれいさに対する市民満足度を高めるために、不法投棄の監視やポイ捨てをしないマナー啓発、清掃活動による環境美化を実施します。また、街なかにある公園や緑地の保守・点検につとめ、魅力あふれる自然景観を守り、広くアピールしていきます。

【環境指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
発見された不法投棄量	85.18 m ³ (平成 23 年度)	89.62 m ³ (平成 28 年度)	89.13 m³ (平成 29 年度)	62.5 m ³ (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成
1人あたりの都市公園面積	16.10 m ² (平成 23 年度)	16.48 m ² (平成 28 年度)	16.48 m² (平成 29 年度)	16.21 m ² (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成
公園・緑地を利用している市民の割合	41.2% (平成 23 年度)	※計測不能 (平成 28 年度)	39.5% (平成 29 年度)	45.3% (平成 29 年度)	— (前年値未計測)	未達成
佐世保市の景観を魅力的だと感じる市民の割合	68.8% (平成 23 年度)	※計測不能 (平成 28 年度)	78.4% (平成 29 年度)	80.0% (平成 29 年度)	— (前年値未計測)	未達成

※「計測不能」は、計測に使用する「市民意識アンケート調査」が平成 25 年度分（平成 26 年 5 月実施）を最後に隔年実施となったため、現況値を得ることができなかったものです。

取組 1：環境の美化を図る

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
空缶等散乱防止事業	一斉清掃・空き缶回収キャンペーンを実施し、環境美化及び資源リサイクルに対する意識の高揚を図りました。 ●市民大清掃参加人数 42,600 人（H28：37,000 人）	市民大清掃を行いながら、美しいまちづくりのため、市民の意識高揚を推進します。
不法投棄等対策事業	不法投棄を防止するため、不法投棄監視パトロール、監視カメラの設置、排出事業者等の監視・指導などを行いました。 ●不法投棄発見件数 197 件（H28：205 件）	関係機関等と連携して不法投棄対策に努め、また不法投棄者への厳しい指導を徹底していきます。
漂着ごみ対策事業（宇久地区）	宇久島における漂着ごみについて、海水浴場などはボランティア活動による撤去、回収作業困難箇所は委託事業者による撤去を行い、処理しました。 ●漂着ごみ撤去箇所数 14 か所（H28：14 か所）	継続して、漂着ごみの撤去による自然環境及び生活環境の美化を図ります。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
事業所などへの調査 立入率	— ※基準値未設定	105.0% (平成 28 年度)	155.0% (平成 29 年度)	100.0% (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
一斉清掃の参加人数	19,000 人 (平成 23 年度)	37,000 人 (平成 28 年度)	42,600 人 (平成 29 年度)	39,000 人 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
一斉清掃によるごみ 回収量	149.4 t (平成 23 年度)	289.7 t (平成 28 年度)	228.3 t (平成 29 年度)	250 t (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
漂着ごみの回収量 (漁場環境保全対策事業)	29 t (平成 23 年度)	28t (平成 28 年度)	51t (平成 29 年度)	30 t (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成

取組 2：身近な緑を豊かにする

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
させば美化化 プロジェクト (道路)	佐世保市の観光都市としてのイメージアップ及び親しみの持てるみちづくりのため、ボランティア団体（90 団体）が、自ら育てた花苗を、道路の植栽帯などに植え付けるプロジェクトを推進しました。 ●させば美化化プロジェクトによる花の植付面積 607 m ² (H28：591 m ²)	観光都市としての魅力向上及び美しいまちづくりの推進のため、今後も引き続き実施していきます。
道路アダプト (里親) プロ グラム	道路の美化活動を実施するボランティア団体（18 団体）に対し、道路美化のための物品（ゴミ袋、軍手、花苗等）の支給を行いました。 ●ボランティア活動の活動率 34.26%（H28：44.44%）	観光都市としての魅力向上のため、また、事業内容について市民の皆様を知ってもらうため、今後も引き続き実施していきます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
市街化区域での公園充足 地域の面積割合(※)	77.3% (平成 23 年度)	78.7% (平成 28 年度)	79.3% (平成 29 年度)	79.1% (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
第三次都市公園等整備 5 ヶ年計画（平成 25～29 年度）に基づく再整備率	0% (現計画開始時)	46.4% (平成 28 年度)	53.6% (平成 29 年度)	100.0% (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成

※佐世保市環境基本計画（改定版）「身近に公園が配置された市街化区域の割合」と同じ指標です。第 6 次佐世保市総合計画後期計画で用いている指標であるため、指標名を総合計画と同一のものとししました。

取組 3：良好な景観を形成する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
景観形成 事業	景観法に基づく届出が、景観計画の景観形成基準に適合するよう取り組みました。また、三川内山地区において、重点景観計画を策定するための準備を行いました。 ●建築物景観形成基準適合率 100%（H28：100%）	景観計画に基づき、適正な処理、景観誘導を行います。地域の特性に応じた魅力ある景観を形成するため、佐世保駅周辺地区の重点景観計画の策定に取り組みます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
景観計画区域内における 建築行為等届出適合率	100.0% (平成 23 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成

4 大気環境と水環境の保全

環境に負荷を与えないまち ～きれいな空気と清らかな水～



総合指標

環境基準の達成率 [大気 (二酸化窒素、二酸化硫黄)・水質 (BOD、COD)]

大気・水質を測定している地点のうち、定められた環境基準に適合している地点の割合で計ります。

基準値	前々年値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
95.8% (平成 22 年度)	100.0% (平成 27 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	95.8% (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成

- 前年値からの変化を3段階で評価しています。☆☆☆ ⇒ 悪化 ★★☆☆ ⇒ 変化なし ★★★★★ ⇒ 改善
- 目標値との比較とは、29年度現況値と目標値を比較し、「達成」「未達成」で表記したものです。
- 中間見直し以降分の、年度ごとの目標値との比較を、30ページ以降の「各指標実績一覧」に掲載しています。

【総合評価】

■平成29年度の状況

- ・大気・水質ともに前年値と同じく100%となりました。

■今後の方向性

- ・環境基準の達成率を維持するために、大気環境の常時監視、水環境の調査、工場・事業所への助言・指導などに、引き続き取り組みます

【環境指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
大気汚染の環境基準適合状況(※1)	57.7% (平成 23 年度)	65.0% (平成 28 年度)	70.0% (平成 29 年度)	100.0% (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成
有害大気汚染物質の環境基準適合地点数(ベンゼン他3項目)	100.0% (平成 23 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成
河川の環境基準適合状況	100.0% (平成 23 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成
海域の環境基準適合状況	100.0% (平成 23 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成
騒音の環境基準適合状況	90.7% (平成 23 年度)	93.1% (平成 28 年度)	93.1% (平成 29 年度)	100.0% (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	未達成
生活排水処理率(※2)	66.5% (平成 23 年度)	69.8% (平成 28 年度)	70.7% (平成 29 年度)	70.1% (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成

※1 国が設置していた大塔局のPM2.5測定装置を平成27年度に本市管理として引き継いだため、当該測定結果を本市測定業務の評価対象として算入したことにより、大きく数値が変動しました。

※2 生活排水処理基本計画を平成26年度に改定したことに伴い、従来江迎・鹿町地区を含まない値としていたものを、それらを含む値とし、また平成29年度目標値を設定しました。

取組1：大気環境を保全する

【行政の取組状況】

事業名等	平成29年度の取組状況	今後の方向性
大気汚染防止対策事業	市内7ヶ所の測定局において常時監視を実施しました。また、大気汚染防止法に基づく特定事業所の管理状況調査のため、立入調査を行いました。 ●大気汚染の環境基準適合状況 70.0% (H28 : 65.0%)	引き続き、市内大気汚染状況の常時監視を実施します。特に、PM2.5、光化学オキシダントの環境基準が未達成であるため、今後も注視していきます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
大気汚染防止法に基づく特定施設等への立入調査件数	30件 (平成 23 年度)	36件 (平成 28 年度)	52件 (平成 29 年度)	30件 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成

取組 2：生活排水対策などにより水環境を保全する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
公共下水道事業	下水道の普及促進を図るため、中部処理区（早岐、有福、広田、船越）、西部処理区（日野、相浦、新田地区）、江迎処理区（田ノ元地区）において、公共下水道を整備しました。 ●下水道普及率 57.6%（H28：57.3%）	「佐世保市公共下水道中長期計画」に基づき、経済性を考慮しつつ、公道等への下水道整備を優先的に進めていきます。
浄化槽普及促進事業	下水道処理区域外における浄化槽の設置促進を図るため、浄化槽設置者に補助金を交付しました。 ●浄化槽補助金交付基数（国庫分）292 基（H28：346 基）	生活排水対策には、浄化槽の設置が有効的な手段であるため、今後も継続して浄化槽設置の普及・促進を図ります。
水質汚濁防止対策事業	公共用水域（河川、海域）等の採水調査を実施しました。また、水質汚濁防止法に基づく特定事業場が排水基準を順守しているか立入調査を行いました。 ●水質汚濁防止法に基づく特定事業場の立入調査件数 74 回（H28：79 回）	排水基準を超過した事業所がある場合、立入回数を増やすなどし、調査・指導を行っていきます。
クリーンピュアとどろき等運営事業	し尿、浄化槽汚泥及び生活雑排水を処理するために、生活排水処理施設を効率的かつ適正に維持管理、運営しました。 ●し尿処理施設（クリーンピュアとどろき）の環境基準適合率 100%（H28：100%）	し尿及び浄化槽汚泥の効率的で安定した適正処理を継続するために、老朽化する設備の維持整備を行います。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
下水道普及率	56.0% (平成 23 年度)	57.3% (平成 28 年度)	57.6% (平成 29 年度)	59.8% (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成
生活排水処理率(浄化槽分) (※)	16.2% (平成 23 年度)	17.5% (平成 28 年度)	17.9% (平成 29 年度)	17.5% (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
再生水供給件数【累計値】	18 件 (平成 23 年度)	19 件 (平成 28 年度)	19 件 (平成 29 年度)	20 件 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	未達成
水質汚濁防止法に基づく特定施設への立入調査件数	74 件 (平成 23 年度)	79 件 (平成 28 年度)	74 件 (平成 29 年度)	74 件 (平成 29 年度)	☆☆☆ (悪化)	達成
佐々川をきれいにする会啓発イベント回数	2 回 (平成 23 年度)	2 回 (平成 28 年度)	2 回 (平成 29 年度)	2 回 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成
大村湾をきれいにする会啓発イベント回数	1 回 (平成 23 年度)	1 回 (平成 28 年度)	1 回 (平成 29 年度)	1 回 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成

※生活排水処理基本計画を平成 26 年度に改定したことに伴い、従来江迎・鹿町地区を含まない値としていたものを、それらを含む値とし、また平成 29 年度目標値を設定しました。

取組 3：騒音・振動・悪臭や有害化学物質による汚染を防止する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
騒音・振動・悪臭防止事業	騒音・振動・悪臭に係る公害から市民の生活環境を保全するために、発生源の監視及び指導を行いました。 ●騒音・振動・悪臭調査件数 130 件（H28：115 件）	住民の生活環境保全を推進するために、法令に係る事業所の立入調査を継続的に実施します。環境騒音については、測定方法・測定地点の見直しを行います。
土壌汚染対策事業	土壌汚染対策法に基づく土壌調査の検討業務を行いました。 ●問い合わせ件数 57 件（H28：81 件）	平成 29 年度に法改正があったため、引き続き周知を行い、同法への意識の向上を図ります。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
騒音・振動規制法に基づく特定施設への立入調査件数	19 件 (平成 23 年度)	44 件 (平成 28 年度)	51 件 (平成 29 年度)	20 件 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成

5 ごみの減量化とリサイクル

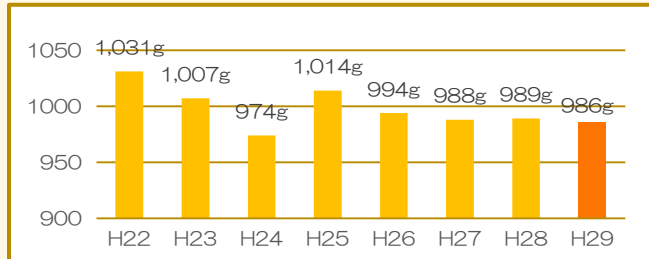
省資源、資源循環のまち ～ものを大切に生活～



総合指標

1人1日平均ごみ排出量

市民一人ひとりの取組により省資源、資源循環が進んでいるかを把握するため、「1人1日平均ごみ排出量」で計ります。



基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
1,031g/人/日 (平成 22 年度)	989g/人/日 (平成 28 年度)	986/人/日 (平成 29 年度)	1,012g/人/日 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成

- 前年値からの変化を3段階で評価しています。★☆☆ ⇒ 悪化 ★★★ ⇒ 変化なし ★★★★★ ⇒ 改善
- 目標値との比較とは、29年度現況値と目標値を比較し、「達成」「未達成」で表記したものです。
- 中間見直し以降分の、年度ごとの目標値との比較を、30ページ以降の「各指標実績一覧」に掲載しています。

【総合評価】

■平成29年度の状況

- ・熊本地震生活ごみの受け入れにより、平成28年度はごみ排出量が増加していますが、受け入れ分を除いて算出した平成28年度の値988g/人/日と比較しても改善しています。

■今後の方向性

- ・当面の目標である1,012g/人/日は達成されましたが、全国の実績925g/人/日(H28)長崎県全体の実績944g/人/日(H28)と比較すると、まだ上回っている状態です。家庭系ごみ減量の普及啓発、事業系ごみの減量対策などに、引き続き取り組みます。

【環境指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
ごみ排出量	96,254 t (平成 23 年度)	91,789 t (平成 28 年度)	90,889 t (平成 29 年度)	91,931 t (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
家庭系ごみ排出量	51,274t (平成 23 年度)	48,710t (平成 28 年度)	48,252t (平成 29 年度)	47,690t (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成
【参考】家庭系ごみの1人1日平均排出量	537g/人/日 (平成 23 年度)	525g/人/日 (平成 28 年度)	524g/人/日 (平成 29 年度)	525g/人/日 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
事業系ごみ排出量(搬入量)	44,980 t (平成 23 年度)	43,079t (平成 28 年度)	42,637t (平成 29 年度)	44,241t (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
ごみの資源化率	27.3% (平成 22 年度)	30.7% (平成 28 年度)	29.0% (平成 29 年度)	28.9% (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	達成
ごみの適正排出率	98.7% (平成 23 年度)	99.2% (平成 28 年度)	99.1% (平成 29 年度)	100.0% (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
ごみ処理施設の環境基準適合率(東部CC)	100.0% (平成 23 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成
ごみ処理施設の環境基準適合率(西部CC)	100.0% (平成 23 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成
ごみ処理施設の環境基準適合率(宇久環境センター)	100.0% (平成 23 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	基準値を維持 (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成

取組 1：ごみになるものを断る（リフューズ Refuse）

取組 2：ごみになるものを減らす（リデュース Reduce）

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
家庭系ごみ適正排出等推進事業	平成 17 年 1 月から佐世保方式 2 段階ごみ有料化制度を実施し、平成 21 年 1 月に制度を見直して、ごみ処理券から購入補助券方式に変更しました。29 年度は「ごみカレンダー・分別表」に説明ページを増やし、記載・広報した。 ●家庭系ごみ排出量 48,252 t（H28：48,710 t）	市民アンケート調査の結果や、社会情勢、ごみの減量状況を踏まえながら、市民の皆様にご理解いただける制度のあり方を目指します。
事業系ごみ対策事業	多量排出業者に対して、直接事業所を訪問し、提出された計画書をもとに適正排出の指導等を行うとともに、パンフレット等を配布し、啓発の推進を図った。また、処理施設にて許可業者の展開検査を実施し、処理基準に従っていない事業者へ適正処理を指導し、徹底の強化を図った。 ●事業系ごみ排出量 42,637 t（H28：43,079 t）	今後も適正な分別等の指導を徹底し、事業系ごみの減量化・資源化を促進します。また、施設での展開検査により、許可業者に対しても処理基準の遵守の徹底を図ります。
啓発等推進事業	ごみ減量化等に関する有識者やリサイクル活動を実践している方を「ごみ減量アドバイザー」として登録し、地域や学校等での講習会等に派遣し、指導や情報提供を行いました。 ●ごみ減量アドバイザーを派遣した講習会等の参加人数 57 人（H28：224 人）	今年度はごみ減量アドバイザーとの連携がうまく取れていない部分があったため、連携強化を課題とし、ごみの減量化、資源化の啓発活動を行っていきます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
市民 1 人あたりの収集運搬経費	2,484 円 (平成 23 年度)	2,528 円 (平成 28 年度)	2,588 円 (平成 29 年度)	基準値より減 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成

取組 3：ものをそのまま再使用する（リユース Reuse）

取組 4：原材料に戻して再生利用する（リサイクル Recycle）

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
建設リサイクル法対策事業	建設リサイクル法に基づく届出審査事務として、分別解体の適正実施の審査・指導、現場確認を行いました。 ●建設リサイクル法現場適正率 100.0%（H28：100.0%）	廃棄物指導課・建築指導課・技術監理課・環境保全課と労働基準監督署との共同パトロールを実施し、適正率を維持します。
資源集団回収事業	657 団体が資源集団回収を実施し、古紙 3,991 t、かん類 444 t、空びん類 101 t の回収実績に対し、22,919,820 円を奨励金として交付しました。また、回収業者に 7,766,086 円助成しました。 ●ごみ資源化率 8.86%（H28：9.37%）※施設資源化量を除く資源化率	説明会等を通じて、未実施団体への呼びかけ、掘り起こしに取り組みます。また、雑古紙の適正な分別指導を進め、さらなる資源化に取り組みます。
東部クリーンセンター運営事業	42,234 t の可燃ごみを焼却し、その際に発生する焼却熱を利用して、発電を行いました。 ●発電電力量 12,104,830kWh（H28：12,365,720kWh）	ごみ量の変動や新西部クリーンセンターの供用開始を視野に入れ、効率的なごみ焼却を行い、サーマルリサイクルの促進を図ります。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
資源集団回収量	6,388 t (平成 23 年度)	4,902 t (平成 28 年度)	4,536 t (平成 29 年度)	6,400 t (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
建設リサイクル法現場適正率	88.2% (平成 23 年度)	100.0% (平成 28 年度)	100.0% (平成 29 年度)	100.0% (平成 29 年度)	★★☆ (変化なし)	達成

取組 5：ごみを適正に排出・処理する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
廃棄物適正処理推進事業	適正な許認可事務を行いました。排出事業者、廃棄物処理施設、処理業者に対する監視、指導を行いました。 ●事業所などへ立入件数 62 件 (H28 : 42 件)	廃棄物に関連する多様な案件が増えている中、適正な監視・指導を効果的に行い、廃棄物の適正処理を推進します。
クリーン推進委員事業	市民とのパイプ役及び地域環境のリーダー役として、クリーン推進委員を委嘱し、ごみ減量リサイクルに対する啓発や分別指導等を地域で行っていただきました。 ●ごみステーションへの適正排出率 99.1% (H28 : 99.2%)	クリーン推進委員を通じた啓発活動を継続して、引続き地域の環境美化の推進を図ります。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
分別説明会の開催回数	19 回 (平成 23 年度)	10 回 (平成 28 年度)	16 回 (平成 29 年度)	25 回 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	未達成
事業者へのごみの出し方に関する個別指導回数	677 回 (平成 23 年度)	516 回 (平成 28 年度)	502 回 (平成 29 年度)	700 回 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成

「食品ロス」を減らしましょう

日本国内の年間の食品廃棄量は、食料消費全体の 3 割にあたる約 2,800 万トンで、このうち、本来食べられたはずの、いわゆる「食品ロス」は約 646 万トン（2015 年度）で、その約半分は一般家庭からと言われています。

日本人 1 人当りに換算すると、**"お茶碗約 1 杯分（約 140g）の食べ物"**が毎日捨てられている計算となります。

日本の食料自給率は現在 39%（平成 27 年度）で、大半を輸入に頼っていますが、一方で、食べられる食料を大量に捨てており、その半数は家庭から出されています。

- * 食材は「買すぎない」「使い切る」「食べきる」「必要なものだけを買う」
- * 残った食材や料理を、ほかの料理に活用する
- * 「賞味期限」が過ぎたからといってすぐに捨てず、「消費期限」との違いを理解しましょう。



宴会等では、開始後 **30分**と、
終了前 **10分**は自席で料理を楽しむ
「3010運動」で、
食品ロスを減らしましょう。

環境省 3010運動

検索

6 環境保全活動の促進

環境意識の高いまち ～活動する環境市民～



総合指標

エコライフの実践度

日常生活や事業活動の中で、環境保全に関する活動がどのくらい行われているかを、環境部が独自に行っている「佐世保市の環境に関するアンケート調査」で計ります。(環境保全に関する活動 18 項目の実践している割合の平均)

基準値	前々年値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
73.0% (平成 22 年度)	71.5% (平成 27 年度)	73.0% (平成 28 年度)	72.1% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成

- 前年値からの変化を 3 段階で評価しています。 ★☆☆ ⇒ 悪化 ★★☆☆ ⇒ 変化なし ★★★ ⇒ 改善
- 目標値との比較とは、29 年度現況値と目標値を比較し、「達成」「未達成」で表記したものです。
- 中間見直し以降分の、年度ごとの目標値との比較を、30 ページ以降の「各指標実績一覧」に掲載しています。

【総合評価】

■平成 29 年度の状況

- ・エコライフの実践度は、前年値から 0.9 ポイント下降し、基準値を下回る結果となりました。
- ・前年に比べ増加が大きかった項目は「油、食べ残しを排水口へ流さないようにしている」(18.7 ポイント) でした。また、減少が大きかった項目は、「皿洗いや洗面などは、冷たくない程度の温水か、水を使うようにしている」(9.4 ポイント減) でした。

■今後の方向性

- ・エコライフの実践度の目標を達成するために、環境関連講座などによる学習機会の創出、学校版 ISO などの学校における環境教育・学習の推進などに、引き続き取り組みます。

総合指標

エコオフィスの実践度

日常生活や事業活動の中で、環境保全に関する活動がどのくらい行われているかを、環境部が独自に行っている「佐世保市の環境に関するアンケート調査」で計ります。(環境保全に関する活動 19 項目の実践している割合の平均)

基準値	前々年値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
47.9% (平成 22 年度)	50.2% (平成 27 年度)	50.4% (平成 28 年度)	45.8% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	未達成

【総合評価】

■平成 29 年度の状況

- ・エコオフィスの実践度は、前年値から 4.6 ポイント下降し、基準値を下回る結果となりました。
- ・前年に比べ、増加が大きかった項目は「省エネのための効率的な輸配送システムがある」(8.8 ポイント)、次いで「コピー用紙には再生紙を使用している」(4.4 ポイント) でした。また、減少が大きかった項目は「省エネのため製造工程や製造ラインを改善している」(21.5 ポイント減) でした。

■今後の方向性

- ・エコオフィスの実践度の目標を達成するために、事業所における環境マネジメントシステムの導入の推進などに、引き続き取り組みます。

取組 1：環境マネジメントの考え方を普及する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
地球温暖化防止対策事業（環境家計簿）	ごみカレンダーに「環境家計簿」と「家庭でできる 10 の取組」を掲載し、全世帯に配布しました。 ●ごみカレンダー配布世帯：全世帯（H28：全世帯）	引き続き、ごみカレンダーに掲載し全世帯へ配布・周知していきます。
地球温暖化防止対策事業（エコアクション 21 自治体イニシアティブプログラム）	エコアクション 21 自治体イニシアティブプログラム（事業者のエコアクション 21 の取得を支援する取組）を実施し、7 団体の参加がありました。 ●自治体イニシアティブプログラム参加事業者数 7 団体（H28：6 団体）	エコアクション 21 の認知度向上及び環境マネジメントシステム取得事業者への支援のあり方を検討していきます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
環境家計簿に取り組んでいる市民の割合	13.8% (平成 23 年度)	16.7% (平成 28 年度)	27.8% (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
環境マネジメントシステム取得事業所数（累計値）	61 組織 (平成 23 年度)	72 組織 (平成 28 年度)	73 組織 (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★★★ (改善)	達成
e 宣言@サセボ認定団体	15 団体 (平成 23 年度)	22 団体 (平成 28 年度)	21 団体 (平成 29 年度)	基準値より増 (平成 29 年度)	★☆☆ (悪化)	達成

取組 2：環境情報の発信を進める

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
環境広報事業	佐世保市環境部公式ツイッターアカウント「ダストン君(@duston_4R)」により、環境に関する様々な情報をツイート（投稿）し、わかりやすく市民に提供しました。 ●ツイート（投稿）回数 134 回（H28:234 回）	環境に関する情報を今後もわかりやすく市民に発信していきます。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
エコネットのアクセス数	3,548 件 (平成 23 年度)	運用終了 (平成 26 年度)		基準値より増 (平成 29 年度)	-	-
環境学習サイト「e カンキョウ@サセボ」のアクセス数	2,776 件 (平成 24 年度)	運用終了 (平成 27 年度)		5,300 件 (平成 30 年度)	-	-

※ 「エコネット」「e カンキョウ@サセボ」は独自サイトとしては運用を終了しましたが、掲載情報は、佐世保市公式ホームページ上に移行し、引き続き市民への情報提供を行っています。

取組 3：環境教育・学習を推進し、“環境市民”を育成する

【行政の取組状況】

事業名等	平成 29 年度の取組状況	今後の方向性
環境教育環境学習推進事業	環境関連講座の開催、こどもエコクラブの支援、学校版環境 ISO の推進などに努めました。 ●環境関連講座参加者数 26,209 人（H28：26,660 人）	環境関連講座の増、学校版環境 ISO 認定校の増、エコプラザ利用者の増を目指します。

体験学習・環境教育充実事業	小学4年生を対象として、少年科学館や九十九島パールシーリゾート等での自然体験学習、東部クリーンセンターでの環境学習、三川内焼伝統産業会館での伝統文化学習を実施しました。中学1年生は佐世保の史跡や遺跡等を専門職員の指導のもと体験的に学習しました。 ●「ふるさと文化・環境」発見事業参加人数 4,351人 (H28: 4,420人)	引き続き関係団体の協力を得ながら体験学習を実施し、児童生徒のふるさと佐世保に対する愛情を育み、郷土の発展を願う気持ちを培っていきます。
動植物園社会学習事業	植物とふれあい理解を深めることで自然環境への関心を高めることを目的として、バラの栽培管理講習会(計3回)を開催したほか、獣医体験など実際に動物に触れるイベントを開催した。 ●参加者の満足度及び理解度 96.6%(H28: 95.1%)	平成27年度から指定管理者制度に移行しましたが、本事業は指定管理者を通じて継続し、引き続き意識啓発を行います。

【取組指標】

指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
学校版環境ISOの導入学校数(累計値) ↓ 学校等に対する支援校数	10校 (平成23年度) ↓ 11校 (平成24年度)	9校 (平成28年度)	8校 (平成29年度)	(今後設定) ↓ 26校 (平成30年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
こどもエコクラブの会員数(累計値)	1,688人 (平成23年度) ↓ 1,547人 (平成24年度)	658人 (平成28年度)	603人 (平成29年度)	(今後設定) ↓ 基準値より増 (平成30年度)	★☆☆ (悪化)	未達成
環境学習講座実施回数	28回 (平成23年度) ↓ 37回 (平成24年度)	76回 (平成28年度)	79回 (平成29年度)	(今後設定) ↓ 50回 (平成30年度)	★★★ (改善)	達成
環境関連講座への参加者数	1,286人 (平成23年度) ↓ 4,422人 (平成24年度)	4,287人 (平成28年度)	3,803人 (平成29年度)	(今後設定) ↓ 基準値より増 (平成30年度)	★☆☆ (悪化)	未達成

※平成26年3月に目標年次を平成30年度(2018年度)とした「佐世保市環境教育等推進行動計画」を策定したことにより「佐世保市環境基本計画」中間見直し時点では「今後設定」としていた指標について、目標値が設定されました。なお、それに伴い新しい目標値の基準年は平成24年度としています。

取組4：協働による環境保全活動を展開する

【行政の取組状況】

事業名等	平成29年度の取組状況	今後の方向性
環境教育環境学習推進事業	させぼエコプラザにおいて、環境関連講座の実施、体験型環境学習のイベントやかえっこパズル等を実施しました。 ●させぼエコプラザの利用者数 8,347人 (H28: 7,252人)	させぼエコプラザの機能強化を図り、協働による環境保全活動を促進する取組を進めます。

【取組指標】

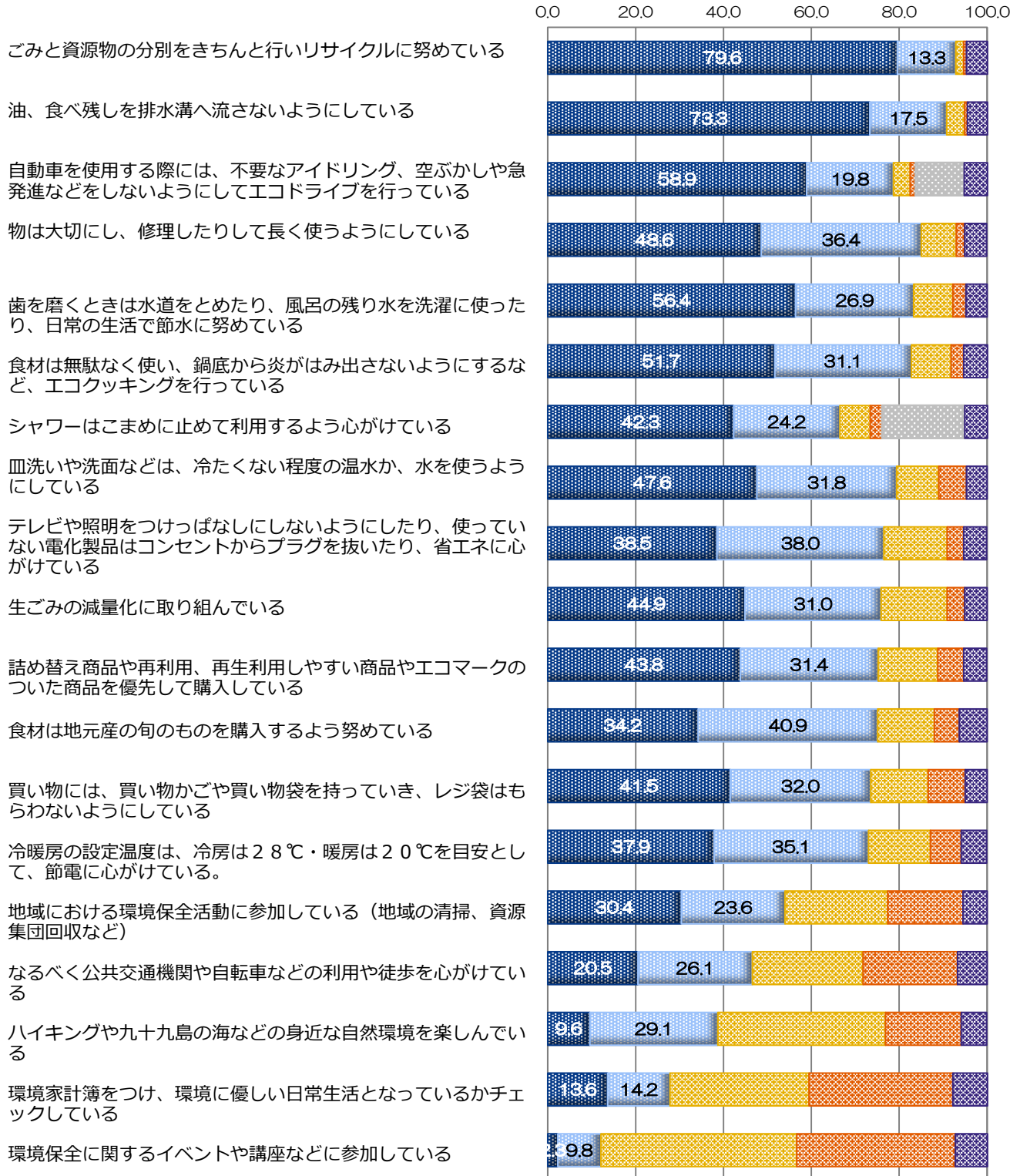
指標名	基準値	前年値	現況値	目標値	前年値からの変化	目標値との比較
させぼエコプラザの利用者数	6,733人 (平成23年度) ↓ 5,496人 (平成24年度)	7,252人 (平成28年度)	8,347人 (平成29年度)	(今後設定) ↓ 7,400人 (平成30年度)	★★★ (改善)	達成
させぼエコプラザに登録される環境保全団体数	0団体 (平成23年度) ↓ 0団体 (平成24年度)	0団体 (平成28年度)	4団体 (平成29年度)	(今後設定) ↓ 10団体 (平成30年度)	★★★ (改善)	未達成

※平成26年3月に目標年次を平成30年度(2018年度)とした「佐世保市環境教育等推進行動計画」を策定したことにより「佐世保市環境基本計画」中間見直し時点では「今後設定」としていた指標について、目標値が設定されました。なお、それに伴い新しい目標値の基準年は平成24年度としています。

環境保全活動の実施状況

市民

平成30年2月に、市内在住の20歳以上の方3,000名を対象に、「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」を実施し、環境保全活動の実施状況を調査しました。(詳しくはホームページをご覧ください。<https://www.city.sasebo.lg.jp/kankyo/kansei/h29anketo.html>)



いつも行っている

時々行っている

行っていないが今後行いたい

今後も行わない、行っていない

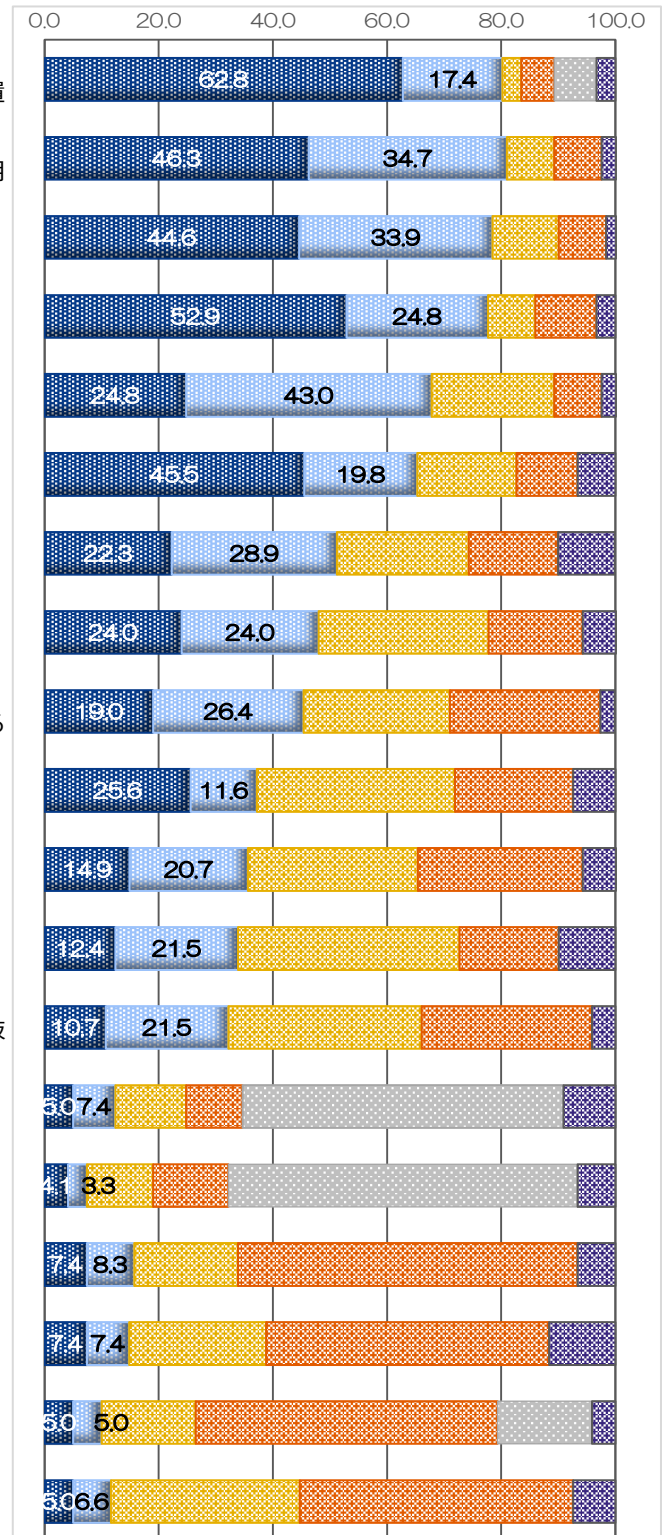
該当しない

無回答

事業所

平成30年2月に、市内250の事業所を対象に、「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」を実施し、環境保全行動の実施状況を調査しました。（詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.city.sasebo.lg.jp/kankyokansei/h29anketo.html>）

- 紙、金属缶、ガラスびんなどについて、回収ボックス等を設置し、分別して適正に処理している
- コピー用紙の使用量を減らしている（両面コピーや裏紙の利用等）
- 昼休み等、不要な時は電気を消灯している
- コピー用紙には再生紙を使用している
- 冷暖房の時間短縮や設定温度（目安：冷房28℃、暖房20℃）を徹底している
- 古紙を使ったトイレトーパーを使用している
- 包装・梱包の削減、再利用をすすめている
- 不必要なアイドルングをやめるよう徹底している
- 事業所周辺や、公園や道路の清掃など地域活動へ参加している
- エコカー（低公害車や低燃費車）を導入している
- 事業所内や周辺地域の緑化に努めている
- グリーン購入を行っている
- 使用していない時は、パソコンやコピー機等のコンセントを抜いている
- 省エネのための効率的な輸配送システムがある
- 省エネのため製造工程や製造ラインを改善している
- 雨水や一時使用した水を再利用している
- 自社製品、サービスにおける環境配慮内容を明示している
- 従業員のマイカー通勤は自粛させている
- 環境保全に関する従業員研修を実施している



いつも行っている
時々行っている
行っていないが今後行いたい
今後も行わない、行っていない
該当しない
無回答

「COOL CHOICE!! 地球温暖化イラストコンクール」を開催しました！



イラストコンクール受賞者の皆様

環境保全課にて、佐世保市内の小学生の皆さんを対象として、「地球温暖化防止」をテーマとした、明るいメッセージ付きのイラストを募集し、コンテストを開催したところ、平成30年度は241点ものご応募をいただきました！

応募作品の中から10作品を選定し、表彰ならびに、市内公共施設内で10月～1月の期間、展示を行いました。

応募いただきました小学生並びに保護者の皆様、ご協力いただきました団体の皆様、誠にありがとうございました。



最優秀賞 「GO!! 西肥バス」
尾崎 悠さん（大野小学校 6年）



優秀賞 「電車に乗ってエコな未来へGO」
松永 妃那子さん（大野小学校 3年）
※大野児童センターから応募



優秀賞 「でんきをたいせつに」
松井 拓人さん（江迎小学校 1年）
※江迎子供クラブから応募

佐世保市地球温暖化防止活動推進員を委嘱しました！

佐世保市では、平成30年6月に、地域による地球温暖化防止活動の推進のため、応募いただいた佐世保市民17名の方へ、地球温暖化防止活動推進員を委嘱しました。

させぼエコプラザを中心として、推進員一丸となって、啓発イベントや講話等、市民主体の地球温暖化防止活動を行っていきます。



委嘱式記念写真



委嘱状交付の様子



推進員による講座

地球温暖化防止活動推進員って何？

地球温暖化対策の推進に関する法律で定められた、地球温暖化防止の取り組みを進めるため、公共団体代表者が市民へ委嘱するものです。

推進員に求められる内容は以下のとおりです。

- ・地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について、住民の理解を深めること
- ・住民に対し、その求めに応じ日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置について調査を行い、当該調査に基づく指導及び助言をすること
- ・地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う住民に対し、当該活動に関する情報の提供その他の協力をする事
- ・温室効果ガスの排出の抑制等のために国又は地方公共団体が行う施策に必要な協力をする事

推進員になったらどうなるの？

推進員は温暖化に関する環境活動について、自ら企画し、地域の特色に沿った独自の啓発活動を行います。

推進員活動の取りまとめは、させぼエコプラザが行っています。させぼエコプラザが開催する研修会や啓発活動に参加することができ、知識やノウハウを習得することができます。

平成30年度の活動実績例は以下のとおりです。

- ・ミニCOOL CHOICE 講座の実施
- ・エコドライブ・スマートムーブ講演会の開催

地球温暖化防止活動推進のため、推進員は市民の皆様に向けた啓発活動に取り組んでいます！
推進員と一緒に、地球温暖化防止について学んでみませんか？

<お問い合わせ先> させぼエコプラザ（戸尾町5-1） ☎25-0055

「みどりのカーテン写真コンテスト」を開催しました！



みどりのカーテン写真コンテスト 受賞者の皆様

～みどりのカーテンとは？～

ゴーヤ、アサガオなど、ツル性の植物を窓辺や壁面にカーテンを掛けたように栽培したものを、みどりのカーテンとよんでいます。

環境保全課にて、素敵なみどりのカーテンの写真を募集し、コンテストを行いました。

応募いただきました 35 点の作品について、環境センターおよび市役所連絡通路にて展示を行い、投票にて、入賞作品を決定しました。

たくさんの方々に応募、投票いただきました！誠にありがとうございました。



最優秀賞

西海水処理株式会社様



優秀賞

西 和彦 様



優秀賞

医療法人わかば会
デイサービス里山療法クラブ

様

環境部からのお知らせ①

ダストンくん (@duston_4R) Twitter やってます。

ダストンくんのプロフィール

生年月日：19××年5月30日

出身地：ゴミゼロ惑星

座右の銘：「混ぜればごみ、分ければ資源」

勉強なう：佐世保弁

コメント：佐世保の環境のこととか
ごみの出し方とか
いろいろつぶやきよるけん、
みんなフォローしてね！



環境部からのお知らせ②

平成31年4月から
小型家電10品目が「資源物」に分別されます。

対象10品目は以下の通りです

- ① カメラ
- ② 携帯用音楽プレーヤー
- ③ 携帯用DVDプレーヤー
- ④ 小型ゲーム機（携帯型・据置型）
- ⑤ 電子辞書
- ⑥ 電卓
- ⑦ 電話（携帯電話・固定電話）
- ⑧ ビデオカメラ
- ⑨ ビデオ（CD・DVD・ブルーレイ）デッキ
- ⑩ ラジオ

- 資源物の日に透明か半透明の袋に入れて出してください。

（指定袋で出す必要はありません。）

- 対象10品目以外の小型家電は、これまでどおり燃やせないごみとして、指定ごみ袋に入れて出してください。

- 個人情報を含むものは、あらかじめ消去をお願いします。



環境基本計画報告書 各指標実績一覧 (中間見直し以降)

○本表は、佐世保市環境基本計画書[中間見直し]の策定以降、平成26年度から平成30年度にわたり作成された「佐世保市環境基本計画報告書」より、各指標の種別、指標名、単位、基準値、目標値、実績（平成25年度～平成29年度）を抜粋したものです。

○「基本目標」とは、環境基本計画に定められた6つの基本目標を示すものです。
(本報告書3～4ページを参照してください)

○「種別」とは、進行管理のための指標として定められた3種の指標を示すものです。
(本報告書4ページを参照してください)

○「指標名」「単位」「基準値」「目標値」「指標（H25～H29）」は、これまでに報告を行ってきた各指標の実績値を示すものです。（本報告書の5ページ以降を、過去5年分にわたり記載したものです）

○年度ごとの実績に対し、「設定された目標値を達成した項目」は黄色、「目標値の設定がされていない項目」はオレンジ色で着色してあります。

総合指標										
基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
1	総合指標	温室効果ガス排出量の1990(平成2)年比削減率	%	22.2増 (H22) (平成24年度)	(今後設定)	33.6増 (H23)	57.2増 (H24)	57.8増 (H25)	52.8増 (H26)	43.9増 (H27)
	<p>東日本大震災以降、政府のエネルギー政策の方向性が定まっていなかったため、本指標の目標値も設定されておりません。新環境基本計画（2018～2027年度版）においては、平成28年5月に国の計画である「地球温暖化対策計画」が策定されたことを受け、国の計画と整合性のとれた目標値が定められています。引き続き、温室効果ガス排出量の削減に努めます。</p>									
2	総合指標	自然環境に対する市民満足度	%	78 (平成23年度)	85 (平成29年度)	79.3	—	84.3	—	83.4
	総合指標	自然とのふれあいにに対する市民満足度	%	26 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	27.3	29.8	28.6	30.6	27.7
<p>「自然環境に対する市民満足度」は第6次佐世保市総合計画の推進に関する「まちづくり市民意識アンケート調査」で計測しており、隔年実績となっています。「自然とのふれあいにに対する市民満足度は、環境部が独自に行っている「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」で計測しており、毎年実績となっています。「自然環境に対する市民満足度」は目標値を達成できませんでしたが、基準年より確実に数値の向上がみられています。自然とふれあう機会を充実させ、様々な情報を発信し、引き続き市民満足度の向上に努めます。</p>										
3	総合指標	まちの清潔さ・きれいさに対する市民満足度	%	35.0 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	39.9	46.0	44.6	42.5	44.1
	<p>基本目標2「自然とのふれあいにに対する市民満足度」と同様、「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」で計測しています。アンケートにおける標本誤差の範囲でわずかに上下していますが、中間見直し以降、5か年にわたり目標値を達成することができました。新環境基本計画（2018～2027年度）にて、目標値を再設定しています。環境美化啓発・自然景観の保守を通じ、高い水準を維持します。</p>									
4	総合指標	環境基準の達成率【大気（二酸化窒素、二酸化硫黄）、水質（BOD、COD）】	%	95.8 (平成22年度)	95.8 (平成29年度)	100	100	100	100	100
	<p>中間見直し以降、5か年にわたり目標値を達成することができました。新環境基本計画（2018～2027年度）にて、引き続き目標値を100%維持に設定しています。さらに生活排水処理率を新たに目標設定し、より一層の水環境の向上に努めます。</p>									
5	総合指標	1人1日平均ごみ排出量	g/人/日	1,031 (平成22年度)	1,012 (平成29年度)	1,014	994	988	989	986
	<p>中間見直し以降、4か年にわたり目標値を達成することができました。本指標については別計画である「佐世保市一般廃棄物処理基本計画」と整合性をとったものです。「佐世保市一般廃棄物処理基本計画」の方針に従い、家庭系ごみ減量の普及啓発、事業系ごみの減量対策に引き続き取り組みます。</p>									
6	総合指標	エコライフの実践度	%	73.0 (平成22年度)	基準値より増 (平成29年度)	72.7	71.6	71.5	73.0	72.1
	総合指標	エコオフィスの実践度	%	47.9 (平成22年度)	基準値より増 (平成29年度)	51.2	51.9	50.2	50.4	45.8
<p>「佐世保市の環境問題に関するアンケート調査」で計測しています。アンケートにおける標本誤差の範囲でわずかに上下していますが、ほぼ横ばい状態のまま、エコライフについては1か年のみ目標値達成、エコオフィスについては最終年度のみ目標値未達成という結果となりました。新環境基本計画（2018～2027年度）では重点プロジェクトとしてエコライフの推進を掲げています。目標達成に向け、環境教育・学習の推進に引き続き取り組みます。</p>										

基本目標 1 地球温暖化防止

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
1	環境指標	CO2排出量（総量）※総量値 ※国、県等の統計データを根拠としており、算定に時間を要するため、実際の排出年度の2年後に算定を行い公表しています。 ※H23実績より、江迎、鹿町を算定範囲に加えたため、基準値より増加しています。	千t-CO2	1,588 (H22) (平成24年度)	(今後設定)	1,737 (H23実績)	2,043 (H24実績)	2,052 (H25実績)	1,987 (H26実績)	1,871 (H27実績)
	環境指標	CO2排出量（総量）※1人当たり値 ※国、県等の統計データを根拠としており、算定に時間を要するため、実際の排出年度の2年後に算定を行い公表しています。 ※H23実績より、江迎、鹿町を算定範囲に加えたため、基準値より増加しています。	t-CO2/人	6.3 (H22) (平成24年度)	(今後設定)	6.5 (H23実績)	7.6 (H24実績)	7.9 (H25実績)	7.2 (H26実績)	7.3 (H27実績)
	環境指標	CO2排出量（民生家庭部門） ※国、県等の統計データを根拠としており、算定に時間を要するため、実際の排出年度の2年後に算定を行い公表しています。 ※H23実績より、江迎、鹿町を算定範囲に加えたため、基準値より増加しています。	千t-CO2	339 (H22) (平成24年度)	(今後設定)	413 (H23実績)	488 (H24実績)	451 (H25実績)	431 (H26実績)	387 (H27実績)
	環境指標	CO2排出量（民生業務部門） ※国、県等の統計データを根拠としており、算定に時間を要するため、実際の排出年度の2年後に算定を行い公表しています。 ※H23実績より、江迎、鹿町を算定範囲に加えたため、基準値より増加しています。	千t-CO2	384 (H22) (平成24年度)	(今後設定)	442 (H23) ※算定方法見直し	484 (H24) ※算定方法見直し	513 (H25) ※算定方法見直し	491 (H26) ※算定方法見直し	441 (H27) ※算定方法見直し
環境指標	CO2排出量（運輸部門） ※国、県等の統計データを根拠としており、算定に時間を要するため、実際の排出年度の2年後に算定を行い公表しています。 ※H23実績より、江迎、鹿町を算定範囲に加えたため、基準値より増加しています。	千t-CO2	371 (H22) (平成24年度)	(今後設定)	528 (H23)	533 (H24)	529 (H25)	532 (H26)	535 (H27)	
環境指標	公共交通利用者数（鉄道・バス）	人	24,117,000 (平成23年度)	24,117,000 (平成29年度)	23,738,113	23,934,244	23,512,490	22,861,179	22,137,410	
環境指標	目的地まで移動するのに円滑に公共交通機関の利用ができる市民の割合	%	-	69.4 (平成29年度)	68.6	-	65.6	-	64.9	
取組指標	環境家計簿に取り組んでいる市民の割合	%	13.8 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	14.4	13.7	13.9	16.7	27.8	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
1	取組指標	地球温暖化防止活動啓発研修会等の参加人数	人	687 (平成23年度)	1,100 (平成29年度)	1,528	1,994	1,927	1,965	1,967
	取組指標	省エネ法に適合した建築物の割合	%	75.9 (平成23年度)	100 (平成29年度)	65.7	51.4	73.3	78.7	77.9
取組指標	エコドライブに積極的に取り組んでいる市民の割合	%	82.1 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	85.6	82.4	87.2	87.8	88.4	
取組指標	公共交通などを活用して自家用車の利用抑制を図っている市民の割合	%	53.9 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	51.1	50.4	47.4	44.1	46.6	

基本目標2 自然環境の保全

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
2	環境指標	森林面積	ha	21,302 (平成23年度)	-	21,003	21,003	21,003	21,003	20,774
	環境指標	耕地面積	ha	3,545 (平成23年度)	-	3,545	3,545	2,928	2,928	2,928
環境指標	絶滅の危険性がある種の数	種	761 (平成23年度)	-	863	863	863	863	863	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標					
						H25	H26	H27	H28	H29	
2	環境指標	水や水辺とのふれあいに対する市民満足度	%	24 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	25.5	28.6	27.7	32.3	30.5	
	環境指標	農地や土とのふれあいに対する市民満足度	%	26 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	27.3	29.7	28.1	28.6	25.9	
	環境指標	生きものとのふれあいに対する市民満足度	%	29 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	29.2	31.2	30.0	31.1	26.7	
	環境指標	動植物園社会学習事業参加の満足度及び理解度	%	100 (平成23年度)	基準値を維持 (平成29年度)	98.4	97.4	91.7	92.6	96.6	
	取組指標	農業従事世帯数（累計値）	世帯	3,262 (平成23年度)	3,000 (平成29年度)	2,993	2,866	3,038	2,996	2,907	
	取組指標	担い手（漁協組合員）数（累計値）	人	1,864 (平成23年度)	1,600 (平成29年度)	1,760	1,693	1,659	1,620	1,578	
	取組指標	育成すべき担い手数（認定農業者数）（累計値）	経営体	472 (平成23年度)	485 (平成29年度)	475	475	455	433	425	
	取組指標	農地流動化面積	ha	105 (平成23年度)	651 (平成29年度)	92	114	171	169	168	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
2	取組指標	遊休農地面積	ha	639 (平成23年度)	基準値より減 (平成29年度)	491	451	393	372	309
	取組指標	中山間地域集落協定締結組織数	集落	109 (平成23年度)	112 (平成29年度)	111	111	96	98	99
	取組指標	ホテルの生息状況確認箇所数	箇所	109 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	110	122	123	110	120
	取組指標	自然環境保全意識啓発活動の実施回数	回	3 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	5	5	4	3	2
取組指標	体験観光プログラム（エコツアー）の参加人数	人	148,205 (平成22年度)	155,500 (平成29年度)	161,947	137,477	138,421	176,928	189,271	
取組指標	農林業体験利用者数	人	1,369 (平成23年度)	1,800 (平成29年度)	1,145	1,237	1,519	1,252	1,301	
取組指標	漁業体験者数	人	3,627 (平成23年度)	5,000 (平成29年度)	1,621	1,602	1,544	1,317	1,260	
取組指標	エコファーマーの認定者数（累計値） ※制度変更に伴い、新規参入者減少	人	558 (平成23年度)	580 (平成27年度)	545	168	161	152	126	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
2	取組指標	市内向け出荷量	トン	12,899 (平成23年度)	13,000 (平成29年度)	12,677	13,192	14,062	13,895	14,870
	取組指標	主要農産物直売所売上高	億円	5.2 (平成23年度)	6.7 (平成29年度)	5.5	5.5	5.6	5.4	5.3
	取組指標	学校給食での地元食材の利用割合	億円	54.7 (平成23年度)	55 (平成29年度)	52.9	52.1	54.1	52.0	51.2

基本目標3 快適な生活環境とまちづくり

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
3	環境指標	発見された不法投棄量	m ³	85.18 (平成23年度)	62.5 (平成29年度)	62.62	53.50	71.65	89.62	89.13
	環境指標	1人あたりの都市公園面積	m ²	16.10 (平成23年度)	16.21 (平成29年度)	16.46	16.59	16.75	16.48	16.48
環境指標	公園・緑地を利用している市民の割合	%	41.2 (平成23年度)	45.3 (平成29年度)	38.6	—	38.8	—	39.5	
環境指標	佐世保市の景観を魅力的だと感じる市民の割合	%	68.8 (平成23年度)	80 (平成29年度)	77.6	—	77	—	78.4	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標					
						H25	H26	H27	H28	H29	
3	取組指標	事業所などへの調査立入率	%	-	100 (平成29年度)	102.5	112.5	117.5	105.0	155	
	取組指標	一斉清掃の参加人数	人	19,000 (平成23年度)	39,000 (平成29年度)	37,200	41,300	42,800	37,000	42,600	
	取組指標	一斉清掃によるごみ回収量	t	149.4 (平成23年度)	250 (平成29年度)	310.4	267.1	303.7	289.7	228.3	
	取組指標	漂着ごみの回収量	t	29 (平成23年度)	30 (平成29年度)	36	54	40	28	51	
	取組指標	市街化区域での公園充足地域の面積割合	%	77.3 (平成23年度)	79.1 (平成29年度)	78.3	78.3	78.6	78.7	79.3	
	取組指標	第三次都市公園等整備5ヶ年計画(平成25~29年度)に基づく再整備率	%	0 (整備計画開始時)	100 (平成29年度)	21.4	35.7	39.3	46.4	53.6	
	取組指標	景観計画区域内における建築行為等届出適合率	%	100 (平成23年度)	基準値を維持 (平成29年度)	100	100	100	100	100	

基本目標4 大気環境と水環境の保全

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標					
						H25	H26	H27	H28	H29	
4	環境指標	大気汚染の環境基準適合状況	%	57.7 (平成23年度)	100 (平成29年度)	77.8	76.9	65.0	65.0	70	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
4	環境指標	有害大気汚染物質の環境基準適合地点数 (ベンゼン他3項目)	%	100 (平成23年度)	基準値を維持 (平成29年度)	100	100	100	100	100
	環境指標	河川の環境基準適合状況	%	100 (平成23年度)	基準値を維持 (平成29年度)	100	100	100	100	100
	環境指標	海域の環境基準適合状況	%	100 (平成23年度)	基準値を維持 (平成29年度)	100	100	100	100	100
	環境指標	騒音の環境基準適合状況	%	90.7 (平成23年度)	100 (平成29年度)	95.3	95.3	89.7	93.1	93.1
環境指標	生活排水処理率	%	66.5 (平成23年度)	70.1% (平成29年度)	69.1	68.6	69.6	69.8	70.7	
取組指標	再生水供給件数【累計値】	件	18 (平成23年度)	20 (平成29年度)	19	19	19	19	19	
取組指標	水質汚濁防止法に基づく特定施設への立入調査件数	件	74 (平成23年度)	74 (平成29年度)	65	69	78	79	74	
取組指標	佐々川をきれいにする会啓発イベント回数	回	2 (平成23年度)	2 (平成29年度)	2	2	2	2	2	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
4	取組指標	大村湾をきれいにする会啓発イベント回数	回	1 (平成23年度)	1 (平成29年度)	1	1	1	1	1
	取組指標	大気汚染防止法に基づく特定施設等への立入調査件数	件	30 (平成23年度)	30 (平成29年度)	28	32	31	36	52
	取組指標	下水道普及率	%	56.0 (平成23年度)	59.8 (平成29年度)	56.5	56.8	57.2	57.3	57.6
	取組指標	生活排水処理率(浄化槽分)	%	16.2 (平成23年度)	17.5 (平成29年度)	17.1	17.4	18.1	17.5	17.9
	取組指標	騒音・振動規制法に基づく特定施設等への立入調査件数	件	19 (平成23年度)	20 (平成29年度)	32	36	31	44	51

基本目標5 ごみの減量化とリサイクル										
基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
5	環境指標	ごみの資源化率	%	27.3 (平成22年度)	28.9 (平成29年度)	29.2	34.3	31.6	30.7	29
	環境指標	ごみ排出量	t	96,254 (平成23年度)	91,931 (平成29年度)	96,284	93,628	92,747	91,789	90,889
	環境指標	家庭系ごみ排出量 ※集団回収含む	t	51,274 (平成23年度)	47,690 (平成29年度)	50,901	50,245	49,801	48,710	48,252

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
5	環境指標	【参考】家庭系ごみの1人1日平均排出量	g/人/日	537 (平成23年度)	525 (平成29年度)	536	533	531	525	524
	環境指標	事業系ごみ排出量(搬入量)	t	44,980 (平成23年度)	44,241 (平成29年度)	45,383	43,383	42,946	43,079	42,637
	環境指標	ごみの適正排出率	%	98.7 (平成23年度)	100 (平成29年度)	99.0	99.2	99.3	99.2	99.1
	環境指標	ごみ処理施設の環境基準適合率(西部CC)	%	100 (平成23年度)	基準値を維持 (平成29年度)	100	100	100	100	100
環境指標	ごみ処理施設の環境基準適合率(東部CC)	%	100 (平成23年度)	基準値を維持 (平成29年度)	100	100	100	100	100	
環境指標	ごみ処理施設の環境基準適合率(宇久環境センター)	%	100 (平成23年度)	基準値を維持 (平成29年度)	100	100	100	100	100	
取組指標	市民一人あたりの収集運搬経費	円/人	2,484 (平成23年度)	基準値より減 (平成29年度)	2,437	2,386	2,516	2,528	2,588	
取組指標	資源集団回収量	t	6,388 (平成23年度)	6,400 (平成29年度)	5,843	5,558	5,249	4,902	4,536	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
5	取組指標	建設リサイクル法現場適正率	%	88.2 (平成23年度)	100 (平成29年度)	94.4	100	100	100	100
	取組指標	分別説明会の開催回数	回	19 (平成23年度)	25 (平成29年度)	12	11	10	10	16
	取組指標	事業者へのごみの出し方に関する個別指導回数	回	677 (平成23年度)	700 (平成29年度)	505	546	504	516	502

基本目標6 環境保全活動の促進

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
6	環境指標	環境の状況や施策に関する市からの情報提供に対する市民満足度	%	21.9 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	23.4	26.8	24.7	35.1	33.3
	取組指標	環境家計簿に取り組んでいる市民の割合	%	13.8 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	14.4	13.7	13.9	16.7	27.8
取組指標	環境マネジメントシステム取得事業所数(累計値)	組織	61 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	66	69	70	72	73	
取組指標	エコネットのアクセス数	件	3,548 (平成23年度)	基準値より増 (平成29年度)	4,317	(H25年度で運用終了)	—	—	—	

基本目標	種別	指標名	単位	基準値	目標値	指標				
						H25	H26	H27	H28	H29
6	取組指標	学校版環境ISOの導入学校数(累計値)⇒学校等に対する支援校数	校	10(平成23年度)⇒11(平成24年度)	(今後設定)⇒26(平成30年度)	10	18	9	9	8
	取組指標	e環境@サセボ認定団体	団体	15(平成23年度)	基準値より増(平成29年度)	15	16	22	22	21
	取組指標	環境学習サイト「eカンキョウ@サセボ」のアクセス数	件	5,165(平成23年度)⇒2,776(平成24年度)	基準値より増(平成29年度)⇒5,300(平成30年度)	4,796	3,696	(H28.1.21から市HPに移行)	—	—
	取組指標	環境学習講座実施回数	回	28(平成23年度)⇒37(平成24年度)	(今後設定)⇒50(平成30年度)	33	45	60	76	79
取組指標	環境関連講座への参加者数	人	1,286(平成23年度)⇒4,422(平成24年度)	(今後設定)⇒基準値より増(平成30年度)	2,076	1,895	2,255	4,287	3,803	
取組指標	させぼエコプラザの利用者数	人	6,733(平成23年度)⇒5,496(平成24年度)	(今後設定)⇒7,400(平成30年度)	4,816	6,125	7,000	7,252	8,347	
取組指標	させぼエコプラザに登録される環境保全体数	団体	0(平成23年度)⇒0(平成24年度)	(今後設定)⇒10(平成30年度)	0	0	0	0	4	
取組指標	こどもエコクラブの会員数(累計値)	人	1,688(平成23年度)⇒1,547(平成24年度)	(今後設定)⇒基準値より増(平成30年度)	603	566	579	658	603	



©SASEBO

平成30年度佐世保市環境基本計画報告書

平成31年3月 発行

編集・発行 佐世保市環境部環境政策課

〒857-0851 佐世保市稲荷町1番8号

T E L 0956-31-6520

F A X 0956-34-4477

E-mail kansei@city.sasebo.lg.jp